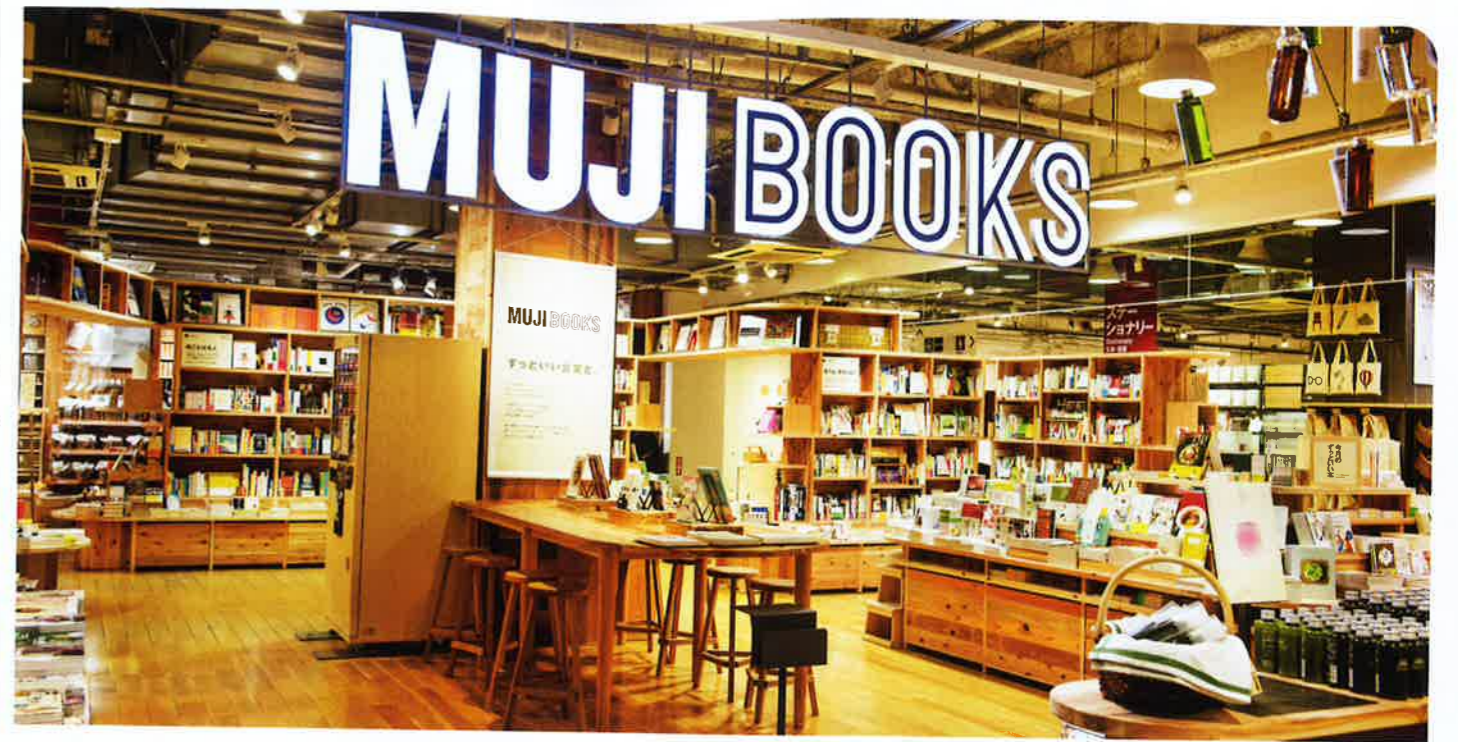


MUJI BOOKS

「ずっといい言葉と」をテーマに暮らしの発見や人生のヒントが見つかる本をセレクト。右ページ/2階中央の書棚。言葉や食にまつわる本が並び、左ページ・右上/2階と3階を繋ぐ吹き抜けに浮かぶ書棚。設計はアトリエ・ワン。右下/1階では旅行用品を扱う〈MUJI to GO〉を展開。ガイドや紀行文が並び棚はブラス状で、内側は棚の一部がベンチに。左上/選書は編集工学者の松岡正剛。左下/松岡さんや本好き著名人による「言葉」をディスプレイ。新しい本に出会うヒントに。



暮らしのヒントを発見する場所。

〈無印良品 有楽町〉リニューアル。

9月4日、無印良品のすべてが揃う世界最大旗艦店として、有楽町店がリニューアルオープン。新設のブックショップからリノベーション提案まで、思わず長居したくなる空間を紹介する。

いちばん新しい無印良品は、どう変わったのか？ 1つ目の目玉は〈MUJI BOOKS〉だ。1階から3階まで合計1000坪近いフロアのあちこちに、さまざまな形の書棚が出現。そのエリアの商品と関連のある本が並んでいる。1階のトラベル用品の横には旅行記。衣類や調理道具、文房具を揃えた2階には、ファッショングッズや料理やアートの本……という具合。ダンディな男たちによる随筆&カルチャー本を集めた棚や、多様な年代の人が5冊を薦める「同級生と本」コーナーも興味深い。3階では家具や家電の隣に建築や収納の本。どのフロアにも知的で大人っぽい空気が漂っている。

書棚デザインは建築設計事務所アトリエ・ワン、本のセレクトは編集工学研究所所長の松岡正剛、そして本の数はなんと2万冊！ 松岡氏いわく「本は目の前の世界を広げてくれるもの」。目当ての商品を探しつつ、気になる本に手を伸ばせば、新しい「発見とヒント」が飛び込んでくる。思いがけない方向に興味が出るこの感じ、寄り道の楽しみにも似ているかも。

もうひとつのトピックスは、3階の〈INFILL+〉と〈INFILL 0〉。無印良品のリノベーション提案だ。〈INFILL+〉は、キッチンや収納、床材など暮らしのパーツを選んで編集するリノベーションシステム。〈INFILL 0〉は空間を基本構造にゼロに戻してから始める改修で、個人で発注できるのは有楽町店が初めてだという。同じフロアには、リビングやキッチンなど部屋全体をコーディネートした空間も。家具の配置やインテリアの色使いなど、真似したくなるヒントが見つかる。

最先端の無印良品は、寄り道して長居して、商品とともに知識や情報を持ち帰ることができる場所。暮らしの発見が詰まった、大人の空間だ。

無印良品 有楽町

無印良品のすべてが揃う世界最大旗艦店として大リニューアル。回収した衣服を染め直して販売する〈Re-MUJI〉やイベント空間〈OPEN MUJI〉など新しい試みも。●東京都千代田区丸の内3-8-3 インフォス有楽町1~3F ☎03-5208-8241。10時~21時。不定休。



INFILL + INFILL 0

無印良品のリノベーション。〈INFILL+〉は収納や床材を選んで組み合わせ、好みの空間を作るシステム。〈INFILL 0〉は空間をスケルトンにして始める改修。施工地域を都内に限り、受注件数限定で展開。右ページ/レールと棚板で作る壁付け収納など〈INFILL+〉の事例を展示。左ページ・右上/〈INFILL 0〉のコーナー。映像でリノベ空間を疑似体験。右下/インテリアアドバイザーやリノベ専任スタッフが常駐。収納などの相談にも対応。左上/床材や塗料、張地のサンプル。左下/植物も充実。

